

転写水の進化

これまで、原因がわからないものには、超希釈尿療法を、原因がわかっていて入手できるものには、転写水を作って、治療に役立てて下さい、とお伝えしてきました。転写水は、作り方が簡単であり、効果も早くわかります。超希釈尿療法との併用も何ら問題ありません。

そもそも転写水は、家族のようなペットが原因のアトピー性皮膚炎や喘息の治療に、ペットと離れずに、薬のレベルを上げることなく、根本的な治療法はないものか、と思いつけていた時、ふと考えついたものです。試みたところ、驚くほどの効果がありましたので、様々なものに試してみました。ご協力下さった方々、有難うございました。

新しい試みを始める時は、安全であることが、何より大切で、絶対的条件です。転写水は化学分析をすれば、ただの水ですが、食べたものや、身の回りにあるものに何らかの病的反応が起きている場合に、原因に相応する転写水を作れば、その症状を改善する作用がみられます。費用もかからず、副作用も無く、安全性は言うまでもなく、原因の特定が正確であれば、とてもよく効きます。

家の中のハウスダスト、カビ類、ダニに対しても、転写水は有効です。だからと言ってハウスダスト、カビ類、ダニの対策を放置するということではありませんが、時間も費用も労力も、相当必要となります。転写水を利用して、少しは、手抜きしながら、自由な時間を増やしてほしいと思います。同様に、家の外の埃—PM 2.5 や黄砂、車の排気ガスなどに対しても転写水を作ることができます。原因としては、はずれであっても、スルーするだけですから、被害は起こりません。

近所のコーヒー屋さんの焙煎の匂いで、アレルギー症状が引き起こされていたお子さんは、そのコーヒー豆を全種類もらいに行って、転写水を作って飲ませ、症状が改善しています。

保育園に行くと湿疹が出てくる、というお子さんは、調べていくと、ハウスダスト、ダニ、カビ類だけではなく、犬毛、猫毛、羽毛、ハムスター、兎毛などが、いろいろと出てくるのです。もちろん自宅にも保育園にも、それらのものはありません。お友達が家で飼っているペットの毛を付けて、登園してくるのでしょうか。お願いして、園の室内塵を取らせてもらい、転写水を作り、飲ませ、外用して良くなっています。次のようにも利用できます。お付き合いで、何かを食べなければならない時、全種類をほんの少しずつ蓄えておくのです。具合が悪くなれば、それを利用します。効かなければ、それが原因ではないと分かります。

合成洗剤、柔軟剤の問題も、このやり方で問題を解決できるかもわかりません。これは、まだ試したことがありません。どなたか試みていただけないでしょうか。この際の注意は、転写するものを、ビニール袋やラップを使わず、小さなガラス容器に入れることです。ごく微小な穴から水に溶けるのを防がなければならないからです。試みた方は、成功、失敗それぞれを教えてくださいね。